

平成30年度事業報告

I ツーリズムの創造・発展

(1) ツーリズム企画推進事業

① 戦略的なツーリズム企画の推進

(担当：経営)

(担当：地域)

県の次年度事業や企画の提案等を行うとともに、事業企画委員会を開催して、ツーリズムおおいた次期中期経営計画の協議を行った。

●事業等企画提案

- ・県政推進指針策定に向けた職員企画事業の県庁への提案
(8月10日 観光・地域振興課各班総括等への協議)

●事業企画委員会の開催(2月25日)

- ・次期中期経営計画(案)の協議実施

●次期大分県ツーリズム戦略(素案)を受けた中期経営計画の策定

② 各種協議会

(担当：地域)

(担当：誘致)

(担当：MICE センター)

ツーリズムおおいたが事務局として、各協議会の総会や会議開催及び事業企画の提案を行うなど、円滑な事務局運営に取り組んだ。

- ・大分県ふるさとガイド連絡協議会

- ・大分県教育旅行誘致協議会

- ・大分県MICE誘致推進協議会

●大分県ふるさとガイド連絡協議会

- ・理事会開催(8月1日) 参加者 10名

- ・総会開催(8月1日) 参加者 54名

昨年度の事業報告、今年度の事業計画(案)承認

各ガイド団体の取組事例の発表、情報交換会を実施

- ・第2回理事会開催(12月18日) 参加者 12名

- ・九州観光ボランティアガイド研修会実行委員会参加

- ・第3回都道府県観光ボランティアガイド連絡協議会代表者会議
外国人留学生を活用したガイドの取組事例を発表

●大分県教育旅行誘致協議会

- ・総会開催(6月15日) 出席者21名

- ・実務担当者会議(10月19日)出席者20名

●大分県 MICE 誘致推進協議会

- ・協議会開催(3月11日)出席者13名

(2) 地域連携事業

① 六郷満山開山 1300 年誘客キャンペーン事業実行委員会との連携

(担当：地域)

六郷満山開山1300年にあたり、PRイベントの開催や朱印巡りバスツアー等専用商品の造成、アフター1300 年に向けての取り組みなどを推進した。

●旅行会社用素材集作成(六郷満山専用)

九州観光説明会(全国主要5都市)との連動でPR

●開山1300年イベントの実施

	・非公開文化財特別公開・Ⅰ期:3/1～6/10、Ⅱ期:9/15～12/15 ・紅葉ライトアップ&イベント:10/6～12/2 ・特別朱印めぐり: 鬼朱印 3/10～6/10、9/15～12/15 不動朱印 9/15～12/15 ※テッパン web サイトで専用バスツアー実施 429 名参加 ●アフター1300 年に向けての取組み強化 ・2018年上期・旅行会社用素材集作成(六郷満山専用) 九州観光説明会(全国主要5都市)との連動でPRを実施 ・エリア内周遊と滞在プログラムのプラットフォームとしての連携強化を図った。 ・「宇佐国東半島を巡る会」との相互協力による特別感の演出と次年度以降に繋がる「先達」等のシステム化を促進した。
② 観光圏等地域連携 観光組織との連携 (担当：地域)	豊の国千年ロマン観光圏との連携として、引き続き協議会の事務局に参画するとともに、六郷満山エリアにおける滞在プログラムの開発など受入態勢整備への支援や相互連携を推進した。 ●観光圏主催の着地型商品の代売開始(8月より) ※テッパン Web サイト ●DMOとしての相互事業調整と協力体制強化 ●エリア内で実施する「千年ロマン時空博2018」との連携強化。 ・着地型商品の代売と広域ガイド等の活用促進
③ 県内DMO候補法人・地域観光協会との連携 (担当：経営) (担当：地域)	県内市町村や地域観光協会、DMO 組織、旅館組合等関係者との新たな合意形成の場を設けた。また、マーケティングや商品販売等の観光プラットフォーム機能の充実に向け、各地域における取組状況や方向性、役割等の情報共有を行うなど、県域での効果的な事業執行に取り組んだ。 ●他市町村への訪問ヒアリング、意見交換の実施(4～6月) ・市町村毎の課題抽出への意見交換と情報共有 ●市町村個別の課題解決に向けての新規提案、連携強化 ・モデル地域でのサポート体制及び協同体制構築と具体的アクション実施 ・由布市(TIC)等での相互役割分担の明確化 ●地域マネジメントサポートの実施 ・玖珠町を中心とした周辺温泉地宿泊客周遊促進企画の提案 観光カルテ、地域ポテンシャル分析をもとに、ターゲット設定・地域ブランディング・複数地域連携等の展開・企画提案
④ 国民文化祭等との連携 (担当：経営) (担当：地域)	第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭での来県者の県内周遊を促進するため、事務局と連携した地域毎の周遊商品検討や素材集制作など、カルチャーツーリズムの推進に取り組んだ。また、芸術文化関連機関と連携して、企画展の情報発信や

	(担当：誘致)	旅行会社における商品造成を促進した。 ●リメンバー九州キャンペーンとの連携 ・国民文化祭アニッシュカプーア展(別府市)入場キャンペーン(10月6日～11月25日)JR西日本、旅行社と連携 ●専用商品への素材等の提案実施 ・市町村素材をベースとした着地型商品検討 ●地域素材(商品)の有効活用検討 ・大型イベント用素材を通年型商品等への活用・商品化検討
--	---------	---

Ⅱ 地域マネジメントの推進

大分県観光のプラットフォームとして県域版DMOの機能を効果的に発現するため、商品企画や販売、マーケティング機能の充実を図るとともに、市町村、域内DMO組織や観光協会、関係団体等との連携を強化し、観光客の誘致活動や受入態勢整備等を促進した。

(1) DMO推進事業

① 商品企画・販売
機能の強化

(担当：経営)

(担当：地域)

(担当：誘致)

おんせん県グッズ等の物販と地域における着地型旅行商品を一元的に販売できる WEB 販売システム「テッパン！おおいた」により、観光関係者等と連携して、県内の各観光地を結ぶ周遊企画商品の造成、県内周遊を促進する環境の整備に取り組んだ。

●「テッパン！おおいた」を活用した情報発信と商品販売

・観光関連キュレーション記事の公開(41記事)

訪日向け英語版マガジンページ公開(3/25)

・商品販売

エスコート商品(団体ツアー)の販売(47本、うち催行26本)

地域と連携した着地型商品の販売(21商品)

豊の国千年ロマン観光圏や市町村企画商品の代売実施

財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団「につぼん芸術科学祭特別パス」の受託販売(9/1～11/25)

おんせん県グッズ等物品販売

●県内外観光関係者等との連携による周遊商品の企画・造成

・県内観光協会を対象とした「商品企画開発・販売ミーティングの開催」(8/27開催、参加者数20名)

・くまもとDMC(熊本県)と連携した連携商品造成検討

相互の Web サイト連携による強みのある商品検討

「阿蘇くじゅう国立公園」を基軸とした広域流入マップ作成

※相互送客及び相互販売に向け回遊商品を検討

●テッパン！おおいた アクセス解析

(H30年4月～H31年3月末時点)

・サイト訪問者数 89,595UU

・ページビュー数 213,869PV

・流入端末…モバイル 68.4%、PC24.7%、タブレット 6.9%

・ユーザー性別…女性 56.1%、男性 43.9%

・ユーザー地域…大阪府 22.5%、東京都 21.1%、大分県 11.7%、福岡県 10.2%、神奈川県 6.7%、その他 27.8%

・ユーザー年齢層…25～34才 34.2%、35～44才 24.8%、45～54才 15.3%、18～24才 12.4%、55～64才 8.6%、その他 4.7%

・検索キーワードによる「MAGAZIN 各記事」からのサイト流入が 80%以上

		・アクセス流入傾向を踏まえ、ユーザーに適した記事、商品等のコンテンツ計画・開発を実施 ●テッパンならではの企画(着地)商品の造成 ・地域別着地型商品の企画・造成(個人型商品強化) ・31年度上期商品の企画・造成(3月25日発売開始) ●「テッパン！おおいた」の情報発信・販売強化 ・公式 SNS によるファン獲得拡大(WEB プロモーション強化) ●くまもとDMCとの共同開発商品の展開 ・広域周遊型旅行商品の具体化(タクシープラン設定) ・「阿蘇くじゅう国立公園」圏域の魅力の最大化を推進 ※登山、ネイチャー等、有償ガイド同行ツアーを設定 ●「テッパン！おおいた」アクセス解析をもとにした、商品企画・コンテンツの造成を計画。ユーザー傾向より、主要ターゲットの検討および広告・プロモーションを実施
	② マーケティング機能の強化 (担当：経営) (担当：地域) (担当：誘致)	観光マーケティング会議を設置・開催し、市町村や地域観光協会、旅館組合や商工関係者等との検討・協議を行うとともに、より迅速に必要なマーケティング情報の提供に向けた環境整備に取り組んだ。また、戦略の立案に必要なマーケティングを実施するため、データ保有が少ない訪日外国人観光客の動態調査を実施した。 ●市町村ヒアリングの実施(5～6月) ・全市町村観光担当課、観光協会へ訪問による本年度計画等のヒアリング実施。連携促進の計画や共同マーケティング、マーケティング会議計画の情報収集 ・ヒアリングをもとに、一部地域に対して、共同マーケティング、連携商品開発等を提案 ●観光カルテ作成、調査事業実施 ・H29年度大分県観光カルテの作成・発行 ・オープンデータ(観光予報プラットフォーム、JNTO、観光庁等)を活用した地域分析の実施 ・訪日外国人動向調査の実施(8～9月) - 大分県来訪者の国籍別動向(韓・台・中・香)を分析 - 観光マーケティング会議での共有(3/18) ・移動動態調査分析 2017.4～2018.3 期の大分県来訪客の移動データ分析を実施し、観光マーケティング会議で共有(3/18) ●マーケティングアドバイザーとの連携 ・定例ミーティングの開催によりデータに基づいた地域(市町村)分析の実施 ・一部地域へデータに基づく企画提案や共同マーケティングの提案実施、マーケティング会議の運営企画 ●観光マーケティング会議の開催 ・【第1回】10/2 開催(コンパルホール)

		出席者数 45名 観光データの共有、地域マネジメント事例報告 ・【第2回】12/19 開催(アイネス) 出席者数 45名 観光データの共有、地域商品設計ワークショップ等 ・【第3回】3/18 開催(ホルトホール) 各種調査事業共有報告会、観光カルテ考察、地域マネジメントモデル事例報告
(2) 地域磨き対策事業		
① 魅力ある地域・商品づくりの推進 (担当：地域)	ナショナルパーク「国立公園満喫プロジェクト」関係事業の実施、着地型プログラムの検討やアクセスマップの作成等、事務局支援を行った。また、RWCを見据えたフットパスコースの造成など訪日外国人観光客の増加に対応できる観光素材の整備を促進し、魅力ある観光地域づくりに取り組んだ。 ●ナショナルパーク「国立公園満喫プロジェクト」との連動 訪日観光客向け着地型プログラムの検討 熊本県(くまもとDMC)と連携しアクセスマップの制作 ●阿蘇くじゅう地域協議会への参画 ・平成30年度阿蘇くじゅう地域協議会(1月21日) ・くじゅう地域部会 第1回(5月24日) 事業展開における意見交換 第2回(12月17日) 地域の課題解決に向けた意見交換 ・プログラム開発ワーキンググループ会議(7月6日) くじゅう地域におけるプログラム開発及び意見交換 ・ワーキンググループ会議 第3回(4月25日) 着地型プログラム案 第4回(5月23日) 着地型プログラム意見交換 第5回(7月30日) 着地型プログラム開発 ●VISIT JAPAN トラベル&MICE マート(VJTM)インバウンド商談会及びツーリズム EXPO ジャパンへの出展(環境省ブース) 熊本県(くまもとDMC)と連携して、阿蘇くじゅうナショナルパークに関するインバウンド商談及び観光情報の発信を実施 ●フットパスコースの造成 ・講習会の実施 フットパスコース造成に向けた講座及び現地体験指導を県内2会場で実施 臼杵会場(6月27日) 参加者43名 豊後高田会場(6月28日) 参加者16名 ・フットパスリーダー養成講座(フットパス大学)の実施 各地域での普及・推進活動を行うフットパスリーダーを養成するため講座及び現地体験指導を実施 (2月16～17日) 参加者41名 フットパスリーダー認定31名	

		・フットパスコース等の情報発信 インバウンド向けコース紹介を作成し、Web での情報発信を実施
	② おもてなし体制の強化 (担当：経営) (担当：地域)	世界温泉地サミットやラグビーワールドカップを契機とした訪日外国人観光客の取り込みに向け、外国人観光客向け通訳サービス(おんせん県おおいた多言語コールセンター)の充実を図るとともに、各種セミナー、研修等を開催し、県内関係者の受入態勢整備の重要性など意識醸成に取り組んだ。 ●おんせん県おおいた多言語コールセンターの充実 ・山口・九州全域での統一番号によるサービス開始 ・コールセンター利用登録施設数 616 件(3 月末現在) ・コールセンター利用件数 4,010 件(H30 年度実績) ●多言語コールセンターの認知度向上の取組 ●「食」を中心としたおもてなしの質の向上 ・欧米向けメニュー開発、研修の実施 ●訪日外国人観光客受入態勢整備 ・インバウンド対策実践セミナー開催(6 月 21 日) 一般県民対象 参加者 61 団体 86 名
	③ ガイド等ツーリズム人材の育成 (担当：経営) (担当：地域)	大分県ふるさとガイド連絡協議会の交流研修会を開催し、ガイドの資質向上を図るとともに、ガイド同士の情報やノウハウの交換、活用ツールの充実を図り、ガイド人材の育成に取り組んだ。 ●ふるさとガイドの資質向上 ・大分県ふるさとガイド連絡協議会総会時に情報交換会開催 ガイド同士の情報やノウハウの交換(8 月 1 日) ・別府八湯ウォークガイド募集大会への参加(9 月 8 日) ・九州観光ボランティアガイド研修会 in 大分・別府への参加 (1 月 23 日～24 日) 開催県として研修会運営サポート、現地研修(県内5コースのまちあるき)を実施 ●ふるさとガイドに関する情報発信 ・まち歩き動画の制作 5市町(竹田市、豊後大野市、由布市、九重町、玖珠町) ・「ふるさと大分 Let's 郷！(概要版)」の改訂、増刷
(3) 農山漁村ツーリズム育成事業		
	① 人材育成研修 (担当：地域)	農山漁村ツーリズム研究会事務局や行政担当者等の商品開発・企画力やセールス力、危機管理等の研修を実施し、地域の受入態勢の資質向上に取り組んだ。また、農泊受入施設向けフォローアップ研修を実施し課題抽出を行った。 ●研修会の実施

		・危機機管理研修(10月11日～12日) 参加者 18 名 ・交流研修(2月28日)参加者 77 名 県内の農泊家庭の交流の場として、研修会終了後、由布市の実践者の料理等を準備し、情報交換を行った。
	② 情報発信 (担当：地域)	外国人観光客の取り込みを見据えた農林漁家体験民宿の紹介など、ツーリズムの魅力を集約したパンフレット改訂、HP情報の充実など、情報発信を行った。 ●インバウンド向け情報発信 ・インバウンド向けパンフレットの作成 ・訪日観光客向け農泊 How to 動画の制作 ・テッパン！おおいた英語版マガジンにて関連記事を公開
	③ 欧米向け環境整備 (担当：地域)	大手宿泊施設予約サイト等と連携し、受入態勢のセミナーを実施するとともにスマートフォンなどから予約できるよう農泊家庭の登録を促進した。また、アサヒビール株式会社大分支店からいただいた寄付金について、農泊家庭の Wi-Fi 環境整備等に活用予定。 ●大手宿泊施設予約サイト等と連携した農泊家庭の受入体制整備に関するセミナーの実施 (10月11日～12日) 参加者 18 名 ●受入家庭の態勢整備 ・海外向け宿泊施設予約サイト登録の支援、促進 ・予約体制実証のためのモニターツアー実施 ・受入家庭用指さしガイドの作成 ●ポケット Wi-Fi 及び携帯翻訳機(ポケトーク)の貸与 ・農泊家庭の Wi-Fi 環境整備のため、研究会単位で貸与予定。
(4) 情報収集・発信事業		
	① HP 情報発信 誌等発行 (担当：地域)	観光情報誌「Gururitto～ぐるり～」の季刊発行、「おんせん県おおいた観光情報公式サイト」(ツーリズムおおいたホームページ)における情報更新頻度の向上による旬な情報、季節を先取りしたタイムリーかつ効果的な情報発信を行った。 また、FacebookやTwitter、Instagram などSNSの機動性を有効に活用した情報発信とあわせて、旅行会社やメディアに対する商品の造成・販売に必要な業界向けニュースレター(おんせん県 PRESS)を発行し、旅行商品造成や誘客促進に取り組んだ。 ●「おんせん県おおいた観光情報公式サイト」の更新充実 ・日本語サイト…旬の情報や有効なネタを判り易くカテゴリー分けによる戦略的な情報発信を実施 ・英語版サイト…県内在住外国人による監修によるリニューアル実施(9月1日より公開中)。 ●「Gururitto～ぐるり～」の発行(県内約 700 ヶ所配布)

- ・事業者選定コンペを開催して事業者決定
- ・配布先に、レンタカー会社主要店舗等追加
- ・誌内にAR機能との連携を実施(動画で該当エリアの魅力が伝えられるよう工夫)
- ・夏号発行(6月29日)5万部
 - 〈特集〉おんせん県の大人の夏休み 心をゆるめる夏たび
 - おんせん県キャラ(日田市)たんそうさんがゆく、
 - 「日本一暑い夏!水郷の遊びを伝授」
 - イベントカレンダー・インフォメーション
- ・秋号発行(9月18日)5万部
 - 〈特集〉Artな旅へ しつとりと情緒薫るおんせん県の秋をめぐる
 - おんせん県キャラ(豊後高田市)らっぴーがゆく
 - 「レトロかわいい秋を探す旅に出よう」
 - イベントカレンダー・インフォメーション
- ・冬号発行(11月30日)5万部
 - 〈特集〉元気をもらう、いいこといっぱいのおんせん県の旅
 - 冬こそ、パワーチャージ
 - おんせん県キャラ(別府市)べっぴょんがゆく
 - 「湯かむりのまちほっこり冬トリップ」
 - イベントカレンダー・インフォメーション
- ・春号発行(2月28日)5万部
 - 〈特集〉イロトリドリハルトリップ
 - おんせん県キャラ(杵築市)ハモシローがゆく
 - 「おひなさまを愛でながら坂道の城下町散策」
 - イベントカレンダー・インフォメーション
- 海外メディアへの出稿、ブロガー招聘等の実施
 - ※数字は誘致営業部実施分も含む
 - ・旅行誌、ライフスタイル誌…6媒体
 - ・webメディア、ブロガー、ユーチューバー招聘…16媒体
- ニュースレター「おんせん県 PRESS」の発行
 - ・年間6回発行予定(現在5回発行済み)
 - ・第1回夏号(5月31日)vol.19
 - 夏真っ盛り!離島で楽しむアクティビティ
 - (離島、オルレ、イベント、グルメなど紹介)
 - 国民文化祭等イベント情報
 - ・第2回秋・冬号(7月31日)vol.20
 - 全線運転再開久大本線沿線に行く 酒紀行
 - (沿線の酒蔵と立ち寄りスポット紹介)
 - 六郷満山開山1300年秋冬イベント情報
 - 国民文化祭告知
 - ラグビーワールドカップインフォメーション
 - ・第3回冬号(10月1日)vol.21

	おおいた紅葉の名所めぐり (紅葉の名所見頃情報紹介) ライトアップ&イルミネーションイベント情報 六郷満山クライマックスイベント情報 ラグビーワールドカップ着地型商品販売情報 ・第4回冬・春号(11月30日) vol.22 おんせん県おおいたの源泉数 TOP5 最強温泉郷 (温泉、グルメ紹介) ひなまつり・お花見スポット イベント・新スポット紹介 テッパン! おおいたツアー情報 ・第5回春号(1月31日) vol.23 お魚春グルメと朝市情報 春の花スポット GW イベント先取り情報 テッパン! おおいたツアー情報 ・第6回春・夏号(3月29日 配信予定) vol.24 水辺で憩う、初夏のおおいた (滝・湖スポット、グルメ、イベント) ミヤマキリシマ特集 ホタルスポット情報 ラグビーワールドカップ情報 「テッパンおおいた」おもてなしクーポン情報 ●おんせん県おおいた観光情報公式サイトの運営 ・旬の情報ページ、イベントカレンダー写真等を毎日更新 ・季節毎の特集ページを作成 ・Facebook や Twitter の更新頻度向上(週5回以上) ・Facebookや Twitter、Instagram を活用した日本語サイトへの導線確保 ・バナー広告のセールス実施 ・旅行会社向けページの充実 ・海外向けサイトの旬な情報や交通機関等情報を随時更新 ・海外向け Facebook、Instagram を活用したプロモーション (月5回以上更新) ・交通導線、県内イベント情報、お得な観光情報等掲載 ●旅行会社向けの観光素材集の制作 ・平成31年下期観光素材集を制作してセールスを展開 ●各種パンフレットの改訂
② WEB を活用した 将来のリピーター確保対策 (担当: 地域)	若者に人気の Facebook、Twitter、インスタグラムなどのSNSの活用や「テッパン! おおいた」におけるキュレーションシステムとの連動など効果的・効率的な情報発信を行い、将来のリピーターを確保する取り組みを実施した。 ●機動性を活用した情報発信手段の強化

		・Instagramでの情報発信開始 若者に人気の無料写真・動画共有アプリ「Instagram」を活用した「フォトコンテスト」を実施 アクセス数の多いスポットに関連情報を追加掲載 観光スポットページにバリアフリー情報枠を新規設定 SEO対策として検索予想キーワードを多数入力で工夫 ●「テッパン！おおいた」を活用した情報発信 ・「テッパン！おおいた」公式SNS (Facebook、Twitter、Instagram) を活用した情報発信の実施(月 2～3 回更新) ・公式 Facebook ページ「おんせん県たびくらぶ」でのキュレーション記事の周知実施(20回) ・キュレーション記事において、観光施設情報やイベント、交通情報等を取材記事化した情報発信の実施 ●大分県=温泉を更に周知するため、温泉に特化した WEB での情報発信を実施 ・訪日向けにタトゥー入浴可否の温泉施設情報をまとめた WEB サイトを立ち上げ ●「テッパン！おおいた」による情報発信 ・各地域商品やイベント、観光情報を取材等形式で記事化。 ・公式 SNS のインサイト(ファンの属性・傾向)をもとにした発信方法の計画・検討 ・潜在的なユーザーに対して「大分県観光」を認知させるコンテンツマーケティングの計画・実施 ・訪日向け英語版マガジンページ新設(3/25 公開)
	③ 魅力アップ情報発信支援 (担当：誘致)	広報広聴課及び各県事務所と連携し、情報発信支援、取材支援を通じて、県外メディアによる大分県観光情報の露出アップと認知度向上を図った。 ●県外事務所等との連携 <福岡> ・情報誌「ファンファン福岡」イベント情報掲載(6 月から計 5 回) ・月刊誌「温泉博士」8 月号イベント情報掲載(7 月 10 日) ・JR九州車内誌「Please」9月号久大線エリア情報掲載(8 月 25 日) ・雑誌「九州王国」国文祭情報掲載(8 月 15 日、10 月 15 日)

< 関西・中部 >

- ・情報誌「Pretty」7月号掲載(6月25日)
- ・あまから手帖12月号掲載(11月25日)

< 東京 >

- ・大空出版「私のまいにち」10月号(9月15日)
- ・テレビマンユニオン「遠くへ行きたい」(9月16日)
- ・「Ozmagazine」4月号情報掲載(3月12日)
- RWCに向けた観光情報の発信(～3月)
- ・ラグビーマガジン4月号(2月25日)
- ・ラグビーリパブリック掲載(2月28日～)
- ・WEB 広告(3月～)

Ⅲ 国内観光客の誘致促進

熊本地震及び豪雨災害による国内観光客減少からの本格的な回復を図るため、近県の九州・中四国エリア、交通アクセスが豊富な関西・中部エリア、人口が集中する首都圏を中心とした東日本エリアに対し、各エリアに応じたプロモーションや旅行業界へのセールス展開、強みを生かした旅行会社や交通事業者等との連携を図ることにより、各ターゲットに対して効果的な誘客促進に取り組んだ。

(1) 九州・中四国エリア誘客対策事業

国内の宿泊客が伸び悩んでいる中で、高速道路網やJR・フェリーなどの交通アクセスの利便性の高い九州・中四国エリアからの誘客に取り組んだ。

① 九州エリア

(担当：誘致)

●JR久大線復旧対策

- ・久大本線全線復旧出発式及び開通イベント@博多駅
(7月14日)

- 沿線5市2町(福岡県含む)及びJR九州と連携して実施

- ・復旧第1便である「ゆふいんの森1号」の乗客歓迎@日田駅

- ・JR九州車内誌 Please9月号 記事掲載(8月25日)

●旅行社と連携した久大線沿線エリアの商品造成及び広告支援

- ・JTBと連携した露出度アップ(7月～12月)

- ・日本旅行と連携した商品造成(7月～12月)

- ・第一観光と連携した商品造成(8月～11月)

- ・フジ・トラベルサービスと連携した商品造成(6月～9月)

●福岡事務所と連携したセールス等

- ・福岡旅行社セールス4件(5月21日)

- ・福岡旅行社セールス6件(6月6日～7日)

- ・福岡旅行社セールス6件(9月26日)

- ・福岡旅行社セールス(3月6日)

② 中四国エリア

(担当：誘致)

●山口県連携

- ・情報発信「おんオフ宣言」WEB ページ追加及びターゲティング
広告(2月1日～28日)

- ・JR 大阪駅イベントにおける共同での情報発信(9月29日)

- 別府温泉道名人会及び温泉家北出恭子氏とコラボしたトーク
セッション等の実施

- ・広島駅での共同プロモーション(1月26日～27日)

●旅行会社と連携した誘客対策

- ・フジ・トラベルサービスと連携した広告支援(フェリー商品)

- 店舗において、専用パンフレットスタンド設置や観光情報誌
るるぶ「大分版」の店舗設置(14店舗)

●「九州よかよかドライブパス」2018(7月2日～12月16日)

- 利用者登録件数 129,161件

- 大分県特典施設 10施設

●福岡事務所と連携したセールス等

- ・広島旅行社セールス4件(5月16日)

	・広島旅行社セールス 4 件(9 月 13 日) ・広島メディアキャラバン 5 社(2 月 22 日) ●観光イベント等への参加 ・広島フラワーフェスティバル来場者 150 万人(5 月 3 日～5 日) ・マツダスタジアム観光 PR イベント 来場者 3 万人(9 月 12 日) ・メディアキャラバン 4 社訪問(8 月 28 日) ・九州春の大観光展出展(2 月 23 日～24 日)
--	---

(2) 関西・中部エリア誘客対策事業

近年減少傾向にある関西・中部エリア発の観光客の入込を確保することは、今後の大分県観光を活性化する上で不可欠な取組であり、新たな観光資源を磨き、発信することにより誘客対策を行った。

(担当：誘致)	●JR 西日本と連携した誘客キャンペーン ・リメンバー九州キャンペーン(4 月 1 日～3 月 31 日) - 旅咲ガール旅行プラン特典設定 - 西 Navi 掲載(8 月・9 月号) 各 42 万部発行 - 新幹線車内誌ひととき掲載(9 月号) 9 万部発行 ●旅行社との連携 ・阪急交通社との商品造成(9 月～11 月) ・JTB メディアリテリングとの商品造成(9 月～12 月) - 新幹線利用、バス接続旅行商品の造成支援 ・HIS 関西販売員研修(3 月 10 日～11 日) 15 名 ●民間事業者と連携した日本旅行キャラバン ・県内旅連と連携した日本旅行キャラバン 4 支店(7 月 17 日) ●大阪事務所と連携したセールス等 ・大阪旅行社セールス 3 社(5 月 8 日) ・名古屋旅行社セールス 3 社(5 月 15 日) ・大阪旅行社セールス 3 社(8 月 1 日) ・大阪事務所と連携した旅行社等セールス(12 月) ・おんせん県おおいた観光商談会 in 大阪 5 社(2 月 22 日) ・おおいたフェア in 京都(2 月 23 日)
---------	--

(3) 東日本エリア誘客対策事業

熊本地震に続く豪雨災害により、東日本エリアからの観光客は伸び悩んでおり、地域によっては回復には至っていない。一方で、温泉などの豊かな自然資源、世界遺産等を持つ九州は、首都圏を中心に好奇心旺盛なアクティブシニアや働く女性、富裕層を呼び込める素材が豊富であることから、効果的なプロモーションを実施し誘客対策に取り組んだ。

(担当：誘致)	●福利厚生事業者等との連携 ・「えらべる倶楽部」の会報誌秋号において、大分県特集の掲載(4 ページ)85 万部配布 ・福利厚生倶楽部「リロクラブ」と連携した、豊肥エリアの情報発信及び企業の意向調査(11 月～) ・「えらべる倶楽部」WEB ページに大分県特集の掲載及び大分県宿泊予約ページへ誘導(会員 425 万人が閲覧可能 9 月～3 月)
---------	--

	・「ベネフィット・ステーション」WEB ページに大分県特集の掲載及び大分県宿泊予約ページへ誘導(会員 743 万人が閲覧可能 2 月～3 月) ●H.I.S 関東店舗販売員大分研修(5 月 15 日～16 日 17 名) ●イオンレイクタウン大分県フェア出展(8 月 24 日～26 日) ・日本最大級のショッピングモール(埼玉県越谷市)で県観光ブース設置 来場者数約2,000人 ●東京事務所と連携したセールス ・旅行社等セールス 7 社(4 月 17 日～20 日) ・旅行社等セールス 6 社(6 月 19 日～21 日) ・旅行社等セールス 5 社(9 月 4 日～5 日) ・旅行社セールスの実施(10 月 24 日～26 日) ・地獄蒸し祭り in 東京タワー2018(11 月 23 日～25 日)
(4) 商談会等による誘客促進	
(担当：誘致)	県外事務所や市町村、関係団体等と連携したツーリズムEXPO ジャパン等の大型イベントへの出展、旅行業界向け商談会の開催などを通じて、大分県観光素材の訴求、販路拡大を図った。 ●ツーリズム EXPO ジャパン 2018 出展(9 月 20 日～9 月 23 日) ・大分市、別府市観光協会、宇佐市、観光施設連絡協議会と共同出展 ・総来場者数 207,352 人、大分県ブース来場者数 約 4,000 名 ・旅行会社との商談件数 9 件 ・業界日における、メディア、交通事業者等の来場 50 件超 ●ツーリズム商談会 ・開催日程 11 月 26 日(月)～27 日(火) - 説明会及び相談会会場(レンブラントホテル) - エクスカーション(9コース設定) ・参加旅行会社 - 国内旅行会社 55 名 在京ランドオペレーター 10 名 ・参加市町村等 18 市町村、2 団体

(5) 団体誘客対策事業

① MICE誘致の
推進

(担当：誘致)

(担当：MICEセンター)

MICE誘致の窓口として、大分県MICE誘致推進協議会の構成団体と連携し、団体や企業情報の収集やMICE開催データの充実を図った。

また、インバウンド誘致対策事業と連携して、海外からのインセンティブツアーの誘致を強化するとともに、受入時の伝統芸能等の提供も含めた誘致ツールの提供を通じて、将来のリピーター客の創出を図った。

●MICE誘致・開催支援

- ・東北亜観光学会@大分市（8月4日～5日）
- ・第57回飛行機シンポジウム 視察3名（6月30日）
- ・第13回全国ハイシニアソフトボール大会
（10月20日～22日）@大分市、豊後大野市
- ・麒麟チャレンジカップ2018（11月16日）@大分市
- ・第58回土木計画学研究発表会
（11月23日～25日）@大分市

●インセンティブツアー誘致のための支援

- ・アリババ・JR九州 九州キャンペーン視察団（7月23日）
30人

●旅行会社との連携

- ・KNT 国内大交流コンベンション商談会参加（7月12日）
KNT支店等参加数 50所属 商談件数 4件

●その他誘致活動

- ・2020年度池坊華道会全国大会誘致セールス（8月28日）
- ・MICEサポート専門会社（PCO）セールス（3月1日）
訪問先 3社

●九州・沖縄地区コンベンション推進団体連絡会総会の開催
@大分市（11月15日～16日）

●九州・沖縄地区コンベンション推進団体連絡会実務担当者会議出席 @鹿児島市（2月14日～15日）

●国際ミーティングエキスポ（IME）出展（2月28日）
大分市、別府市、ビーコンプラザ等との共同参加

**②教育旅行誘致の
推進**

(担当：誘致)

九州内の近県、広島・岡山を中心とした中国地方、大阪、京都、兵庫といった関西以西のエリアをターゲットに、教育旅行を取り扱うエージェント担当者の招請や学校関係者へのセールス等を実施し誘致を促進した。また、教育旅行誘致協議会と連携して、スポーツやサークル等の合宿の誘致活動や学校関係者や施設関係者等と連携して、新たな学習素材のコンテンツ開発を促進し、セールスツールの充実に取り組んだ。

●九州観光推進機構との連携

- ・九州7県合同教育関係者キャラバン
20社(7月3日～5日)

- ・九州7県合同修学旅行説明会・相談会参加
大阪会場(8月2日) 参加者 77名
名古屋会場(8月3日) 参加者 44名
東京会場(8月17日) 参加者 59名

- ・九州北部4県商談会(2月25日)参加 参加者 22名

●旅行会社等セールス展開

- ・鹿児島旅行社セールス6社(4月25日～26日)
- ・福岡大学「合宿・研修・ゼミ旅行等マッチング相談会」
商談数35件(6月22日)、44件(12月3日)
- ・KNT 国内大交流コンベンション商談会 4件(7月12日)
- ・岡山、広島旅行社等セールス 8件(1月21日～22日)
- ・関西旅行者等セールス 14件(2月12日～14日)
- ・学校関係者等招請 2名予定(3月16日～17日)
- ・中部地区旅行社セールス 7件予定(3月25日～26日)

●宇佐市平和ミュージアム(仮)を中心に関係団体と協議(随時)

●(公財)日本修学旅行協会との連携

- ・月間「教育旅行」8月号 見開き1ページ(2ページ)
- ・「データブック2018 教育旅行年報」の広告掲載(1/2ページ)

●スポーツツーリズム

- ・スポーツツーリズムガイド(電子データ)の作成(～2月)
- ・旅行社セールス 9件(2月26日～27日)

●学習素材のコンテンツ開発

- ・宇佐市等の関係団体と開発(随時)

(6) 空港利用促進事業

① 航空事業者との
連携促進

(担当：誘致)

大分空港就航の航空会社と連携し、各社の持つ特性を活かした効果的な情報発信や県内周遊型の旅行商品の造成・販売を促進した。また、主要な発地となる首都圏での誘客プロモーションを展開した。

●航空事業者との連携

・ANA

羽田空港、伊丹空港スイートラウンジに熊本・大分ミシュランガイドブックの設置(9月～3月)

「旅作」で大分県の専用コンテンツの新規作成

・JAL

WEBプロモーションの実施(8月～2月)

JAL 自転車部を招請し「On Trip JAL」ページ内に大分県特集、並びに SNS 等で配信。

・ソラシドエア

89 便を対象としたクーポンの配布

朝イチ便搭乗者を対象に大分空港使用のクーポン発行(12月～2月)

・IBEX

「CA が巡る大分旅行」プロモーションビデオ制作、発信(3月～)

・ジェットスター

機内誌「jetstar MAGAZINE」に大分県特集ページの掲載。(2・3月号)

(7) 大型連休を中心とした春季の誘客対策

①オンライン旅行社
対策(担当：誘致)

若年層を中心に利用の多いオンライン旅行社と連携した誘客促進策を実施した。

●楽天トラベルとの連携(2月12日～)

・楽天トラベルのページ内に大分県の特設ページを設置

・楽天グループの保持情報を活用した、ターゲティング広告

・同特設ページへの流入を促し、大分県の宿泊予約の誘導

②福利厚生事業者対
策(担当：誘致)

福利厚生事業者と連携し、上場企業、公務員、銀行等の可処分所得が高く、大型連休等にまとまった休みが取れやすい層に対して、大分県の観光情報を届けることで、誘客促進策を実施。

●JTB ベネフィット「えらべる倶楽部」(3月4日～)

・JTB パブリッシング(るるぶ)による取材・記事作成

・作成した記事を「えらべる倶楽部」の WEB ページに掲載

・作成した記事のチラシを作成して、会員に送付

・えらべる倶楽部の大分県予約ページに誘導

IV 広域観光連携の推進

(1) 東九州軸・九州横断軸連携事業

① 東九州軸連携誘客 (担当：誘致)	宮崎県やNEXCO西日本等と連携した誘客キャンペーンやメディアを活用したプロモーションを展開するとともに旅行商品の造成を促すなど、東九州自動車道開通以後、順調に推移している九州各県や中国四国地方からの観光誘客を促進した。 ●東九州広域観光推進協議会の取組 ・NEXCO西日本「お国じまんカードラリー」(4月14日～1月14日) ・じゃらんネットを活用した情報発信 ステッカーラリー(7月21日～9月30日)、フォトコンテスト(9月18日～11月30日) ・九州じゃらん、中四国関西じゃらん掲載(11月号) ・NEXCO西日本SA等へ大分・宮崎共同観光パンフレットの設置(1月1日～2月28日) 九州内3カ所 ・月刊情報タウンみやざき掲載(3月27日)
② 九州横断軸連携誘客 (担当：誘致)	九州横断3県(大分・熊本・長崎)が連携して、九州観光のゴールデンルートと称された九州横断軸観光の再興を図るため、テーマ設定(温泉・火山・ジオパーク、世界に誇る歴史文化、多彩なグルメ)と連動した観光素材情報の発信やセールス展開、商談会の開催に取り組んだ。また、世界遺産認定を待つ「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」とあわせて、県内のキリシタン関連観光素材を含む周遊ルートの商品造成、販売を促進した。 ●九州横断3県(大分・熊本・長崎)の情報発信 ・北海道新聞社主催「北海道旅行博」(11月2日～4日)に向けた広告物やプロモーション調整等 ●周遊ルートの販売促進支援 ・JTB 九州大浪漫号「名湯ゴールデンルート」3日間、4日間 広告支援(10月～3月)

(2) 広域観光推進組織連携事業

(担当：誘致)	九州観光推進機構と連携した旅行会社向け商談会や誘客プロモーションを実施するほか、その他広域連携組織との相互連携を図り、相互交流や情報発信を通じて、効率的な誘客を促進した。 九州全域など広域的なマーケティングデータの分析・蓄積手法等について、九州観光推進機構や各県観光連盟等と連携して、調査、研究を行った。
---------	--

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">●九州観光推進機構との連携・2018 年度下期観光素材説明会・相談会
東京会場(4 月 19 日)
参加者数 35 社、279 名
大阪会場(5 月 9 日)
参加者数 34 社、120 名
名古屋会場(5 月 16 日)
参加社数 39 社、107 名
広島会場(5 月 17 日)
参加社数 15 社、45 名
福岡会場(5 月 30 日)
参加者数 21 社、164 名・2019 年度上期観光素材説明会・相談会
東京会場(8 月 25 日)
参加者数 45 社、207 名
大阪会場(9 月 12 日)
参加社数 40 社、137 名
名古屋会場(9 月 13 日)
参加社数 33 社、82 名
福岡会場(10 月 4 日)
参加者数 30 社、176 名・中京地区旅行会社販売店係員向け 九州モデルコース説明
会(9 月 15 日)参加社数 7 社、15 名●「九州沖縄春の大観光展」出展@広島市(2 月 23 日～24 日)●2019 下期観光素材説明会に向けた素材集の作成(～3 月) |
|--|---|

V インバウンド誘致対策事業

訪日外国人観光客の増加が進む中、さらなる誘客が見込める東アジアや東南アジアを主要ターゲットに、大分県観光の強みである温泉や食、自然等の観光素材を活用して、国・地域の特性や旅行ニーズに応じたアプローチによる誘客を推進した。

また、RWC 2019大分開催を控え、試合開催国への重点的プロモーションや宿泊施設の確保、大会終了後のリピート化を見据えた受入環境の整備など取組を強化した。

(1) アジアにおける国（地域）別対策

① 韓国対策

(担当：誘致)

- 旅行博覧会出展、情報発信
 - ・ハナツアー旅行博覧会（6月7日～10日）出展
県内参加関係者 6団体
来場者約8万人（2017年 約10万人）
 - ・ハナツアー旅行博覧会釜山（11月30日～12月2日）出展
県内参加関係者 8団体
来場者約3.5万人
 - ・韓国生活雑誌「幸福が溢れる家」取材（3月6日～9日）
- 商談会出展、セールス活動
 - ・JNT0 ソウル商談会（6月5日）
県内参加関係者 8団体
参加旅行社数 93社 212名
 - ・九州観光説明会・商談会（8月2日）
県内参加関係者 9団体
参加旅行社数 70社
 - ・JNT0 釜山商談会（9月7日）
県内参加関係者 11団体
参加旅行社数 50社
- 海外誘致アドバイザー（松村氏）との連携
 - ・韓国旅行会社へのセールス 49件（6月～2月）
- 旅行会社視察
 - ・光州旅行会社ファムトリップ 30団体

② 台湾対策 (担当：誘致)	●現地誘客アドバイザー（日盟國際商務有限公司）との連携 ・旅行会社へのセールス活動支援(16社)、情報収集 ・商談会、プロモーション出展等の運営 ●台湾現地商談会の参加・実施 ・九州観光推進機構主催台湾商談会（高雄・台中・台北） （7月23日～27日） 現地旅行社参加数 高雄31社 台中21社 台北55社 高雄9社、台中11社、台北13社と商談実施 ・大分県台湾（高雄・台北）単独商談会（10月2日～5日） 高雄会場参加者 日本側23団体、現地旅行社44社 台北会場参加者 日本側24団体 現地旅行社61社 ●台湾現地セールスの実施 ・5月30日、31日 2社 ・7月27日 2社 ・8月24日、27日 3社 ・10月4日、5日 3社 ・2月26日、27日 6社 ●北九州市・宮崎県連携事業 ・旅行社2名、ブロガー2名を招請（7月12日～13日） ブロガーは招請中、帰国後で計11回の記事投稿 （ブログ、Facebook）旅行社は1本ツアー造成 ・現地旅行博出展（T I T E）（8月25日～28日） 台北において来場者数 218,396名（4日間）の旅行博に 3県担当者にてブース出展し、招請旅行社は招請コース商 品のPRを実施 ●愛媛県連携事業（台湾・香港） ・雑誌社2名、ブロガー2名（台湾・香港1名ずつ）を招請 （7月20日～22日）それぞれ雑誌8ページ掲載、ブログ 2記事、Facebook5回の投稿 ・I T F旅行博にて九四ルートPR（11月23日～26日） ●2018日台観光サミット in 台中参加（5月30日～6月2日） ・日本側参加者 122名、台中側参加者 106名 ●情報発信 ・ブロガー招請事業 路線バス活用ブロガー2名招請（11月12日～15日） レンタカー活用ブロガー2名招請（2月11日～14日） ・台湾旅行雑誌 TOGO 旅游記事掲載（3月号） ●現地誘客アドバイザー（日盟國際商務有限公司）との連携 ・旅行会社へのセールス活動支援、情報収集
------------------------------	---

③ 香港・中国対策 (担当：誘致)	<香港> ●情報発信 ・愛媛県連携VJファムトリップ(7月20日～22日) 雑誌社1名 雑誌掲載8ページ ブロガー1名 ブログ2記事、Facebook5回掲載 ・香港ブックフェアへの出展(7月18日～24日) 来場者数104万人 ・香港旅行雑誌「Weekend Weekly」取材アテンド (10月3日～5日) 新規ガイドブック発行のため1名来県 ●海外誘致アドバイザー(三浦氏)との連携 ・旅行会社へのセールス活動、情報収集(7月、12月、3月) 来訪件数35社 ●情報発信 ・香港ブロガー招請事業(11月15日～18日) ・香港在住外国人向け光州生活雑誌 WEB記事掲載(3月) <中国> ●中国ブロガー招請事業(10月30日～31日) ●上海にて県内自治体と連携した商談会実施(2月26日)
④ タイ対策 (担当：誘致)	●海外誘致アドバイザー(Ms.Thitima、THAINCHU)との連携 ・旅行社セールス 20社(2018年6月～2019年1月) ・現地での大分県情報Facebook 毎週発信 ・現地での大分県Facebook 運営(昨年4月より継続) 投稿75回、フォロワー数9,350名 ●現地広告代理店 WATTENTION との連携 ・2名招請(10月14日～17日) ・大分県タイ語パンフレットのリニューアル ●現地旅行会社への大分県タイ語パンフ配送設置 ●情報発信 ・WATTENTIONへ大分の情報発信実施(2019年2月) ●旅行博(FIT)への出展 ・JNTO(日本政府観光局)が主催する旅行博(FIT)への出展 (10月30日～11月5日) ●海外誘致アドバイザー(Ms.Thitima、THAINCHU)との連携 ・タイ旅行社へのセールス活動支援、情報収集

⑤ ベトナム対策 (担当：誘致)	●旅行博覧会・商談会への出展・情報発信 ・FEEL JAPAN in Vietnam2018 出展（7 月 14 日～15 日） 2 日間で 3 万人の来場 8 月催行 75 名集客 ●HIS ベトナムとの連携 ・情報発信 Facebook での情報発信 40 回実施 ・大分県ツアー募集の実施 ●現地旅行会社 4 社へセールス、商品造成依頼 （7 月 12 日～16 日） ●旅行博出展 ・VITM Hanoi への出展（3 月 28～31 日） ●九州観光推進機構・熊本県連携事業 ・JAL ベトナム&旅行社 10 社招請 （11 月 26 日～12 月 1 日）
(2) ラグビーワールドカップに向けた欧米豪対策強化事業	
① 試合国等現地プロモーションの強化 (新) (担当：誘致)	●シンガポールセブンスプロモーション（4 月 27 日～30 日） 2 日間で 5 万人の来場 ●シンガポールにて ACROSS OITA セミナー実施（9 月 8 日） VISIT JAPAN 大使ジョージリム氏による大分の魅力発信 ●フランス・イギリス RWC2019 OFFICIAL TRAVEL AGENT セールス及び関係機関訪問実施（6 月 7 日～14 日） ・フランス、イギリスにて 9 社セールス実施 ・JNTO ロンドン事務所訪問 ●英国日本大使館にて RWC2019 セミナー実施（6 月 12 日） ●前回開催地ウェールズにてカーディフ市と日本開催地自治体での共催セミナー実施（6 月 15 日） ●雑誌社招請 〈New Zealand Herald 社記者招請・取材実施〉 （5 月 30 日～6 月 1 日） ・招請者 1 名（通訳 1 名） ・New Zealand Herald 社発行のトラベル誌記事掲載 （9 月 11 日 現地にて掲載） 〈NZ LIFE&MAGAZINE 招請〉（10 月 23 日～26 日） ・招請者 2 名（通訳案内士 1 名） ●試合国現地での商談会及び旅行博出展（12 月 5 日～11 日） ・JNTO 商談会参加（オーストラリア） ・MATSURI JAPAN(シドニー)でのブース出展 RWC 開催 及び 着地型商品のご案内

② WEB・SNS 等を活用した魅力発信(新) (担当：誘致) (担当：地域)	● ロンリープラネット WEB での記事配信及び雑誌発刊 ・ WEB での記事配信 9 月 1 日～11 月 30 日の間公開 ・ 雑誌発刊 英国にて 10 月 4 日発刊 ● ミシュランレッドガイド(英語版)のWEB上での情報提供 (9 月 28 日公開) ● ポール・クリスティ氏によるツーリズムおおいの英語版ホームページのリニューアル (9 月 1 日公開) ● ラグビー専門メディア(RUGBY PASS)での大分開催のプロモーションビデオ制作及び発信 ● ツーリズムおおいの公式 Facebook を活用したターゲティング広告の実施
③ 魅力的な商品造成と誘客対策(新) (担当：誘致) (担当：地域)	● 情報発信 ・ ナショナルジオグラフィック招請事業(7 月 21 日～28 日) 招請者1名 ・ 第1回クルーズセミナー開催(8 月 19 日) 参加者数 56 名 ・ セールスツール作成(英語) 海外船会社セールス用パンフレット作成 100 部 ● ゴールデンルート自治体との連携 ・ 東京都との連携事業 (9 月 12 日～14 日) 在京のライター 2 名を招請しWEBページ作成及び記事 広告による情報発信実施 ● RWCに向けた着地型旅行商品の造成 ・ 欧米豪をターゲットにした着地型旅行商品の造成・販売 ※ テッパン Web サイト(英語版)にて販売開始 (3 月末までに 20 商品以上の販売開始予定) ● クルーズ船誘致アドバイザー(前嶋氏)との連携 ・ 欧州船社セールス(11 月 13 日～22 日)

(3) 訪日教育旅行誘致推進事業

(担当：誘致)

●現地セールス実施及び現地商談会への参加

- ・台湾現地での高等学校セールス（6月19日）
- ・大分県台湾（高雄・台北）単独商談会への参加（10月2日～5日）高雄8社、台北13社と商談
- ・台北市内旅行社へのセールス3社（10月4日、5日）

●県内自治体と連携した誘致活動の実施

- ・ビジットジャパン台湾訪日教育旅行現地（高雄、台中、台北）説明会への参加（6月20日～22日）
- 佐伯市、豊後高田市、九重町、玖珠町との参加

●セールスツールの作成

- ・訪日教育旅行パンフレット（英語版）の作成

●学校関係者及び自治体との受入調整

〈学校交流受入実績〉

- ・国立永靖工業職業学校と津久見高校（5月20日）
- ・桃園市・私立治平高級中学と大分西高校（5月21日）
- ・新北市立新北高級工業職業学校と大分高専（5月24日）
- ・宜興市城南実験小学校と佐伯市立下堅田小学校（7月4日）
- ・宜興市陽義小学校、湖濱実験小学校と由布市立西庄内小学校（7月10日）
- ・宜興市城南実験小学校と臼杵市立川登小学校（7月11日）
- ・維坊高新双語学校と豊後高田市香々地小学校（7月13日）
- ・宜興市城中実験小学校と由布院小学校（7月13日）
- ・GYEONG-AN 中学校と日出町大神中学校（7月18日）
- ・宜興城中実験小学校、城北実験小学校と佐伯市立切畑小学校（7月19日）
- ・忠北生命産業高校と玖珠美山高校（9月6日）
- ・韓国産業潜水技術人協会と海洋科学高校（9月11日）
- ・南投縣同徳高級家事商業職業学校と別府翔青高校（10月16日）
- ・韓国コンベンション高校と佐伯豊南高校（10月18日）
- ・韓国安養工業高校と大分工業高校（10月25日）
- ・新平市立南山高級中学校と大分南高校（11月8日）
- ・羅州工業皇后学校と日出総合高校（11月28日）
- ・高雄市立前鎮高級中学校と大分豊府高校（12月10日）
- ・高雄市立瑞祥高級中学、仁武高級中学と宇佐高校（12月11日）
- ・台中市立弘文高級中学校と大分東高校（12月17日）
- ・韓国ジュルポ自動車工業高等学校と大分高校（12月18日）
- ・広東実験中学校と豊後高田市立真玉中学校（1月25日）
- ・台中市・大里高級中学と別府鶴見丘高校（1月28日）
- ・四川省重慶育才成功中学校と大分豊府中学校（2月15日）

		〈農泊受入実績〉 ・台北市立景美女子高級中学（安心院農泊・4月20日） ・花蓮縣玉東國中学（九重町農泊・4月25日） ・中央大学附属中壢高級中学（佐伯市農泊・5月21日） ・高雄市立明誠中学（佐伯市農泊・5月31日） ・台湾永平高級中学（由布市農泊・10月21日） ・台北市立松山高級中学（安心院農泊・1月19日、20日） ・台湾彰化縣鹿港高級中学（九重町農泊・1月30日） ●ビジット・ジャパン台湾訪日教育旅行促進事業 ・ビジット・ジャパン台湾教育旅行交流会参加（10月30日） 県教委との連携で共同参加 ・教育旅行関係者招請 台湾教育旅行関係者招請及び県内高校視察 （10月30日～11月3日） ●県内中学校・高等学校との交流促進と受入支援継続
（４）広域連携・情報発信事業		
	（担当：誘致）	●旅行博出展、情報発信 ・第25回台北国際旅行博(ITF2017)（11月23日～26日） 現地旅行会社及び愛媛県と連携した旅行商品の販売、観光PR実施

VI ツーリズム推進態勢強化事業

(1) 総会の開催

(担当：経営)	●総会開催(6月28日) ・参加者数 193人(うち委任状109名) ・任期満了に伴う理事選定 ・ツーリズム功労者表彰 2名
---------	---

(2) 理事会の開催

(担当：経営)	●理事会の開催 ・第1回理事会(6月5日) ・第2回理事会(10月30日) ・第3回理事会(3月15日)
---------	---

(3) 運営会議及び事業企画委員会等の開催

(担当：経営) (担当：地域)	●事業企画委員会の開催 ・中期経営計画(案)の協議検討(2月25日)
--------------------	---

(4) 財政基盤の強化(収益事業)

(一部新) (担当：経営) (担当：地域)	●おんせん県グッズ販売、広告収入 ・グッズ等販売収入 6,769千円 ・広告収入 2,450千円 ●おんせん県グッズ詰め合わせギフト2種販売開始 ●着地型旅行商品の販売 ・販売売上 4,738千円 ●(一財)大分県東部勤労者福祉サービスセンター(ピアワーク)と連携した旅行商品販売(特別御朱印めぐりツアー…会員の福利厚生として、ツアー費用の助成により購入を促進) ●物品販売における販路拡大 ・代理販売店の拡充 ・新規商品開発及び販売商品の見直し、収益率向上の検討 ●各種収益事業の検討、提案
-----------------------------	--

(5) 会員との連携強化

(担当：経営)	●「ツーリズムおおいた NEWS」の発行 ・商談会等開催の事前周知により参加を促進 ・セミナーや講演会情報の会員への情報発信の充実 ・発行状況 61号(6月26日)、62号(9月27日) 63号(1月31日)、64号(3月末予定) ●会員数の状況 ・正会員 247 承認待ち 6 ・準会員 37 承認待ち 0
---------	--

(6) 組織の機能強化と連携推進

(担当：経営)

(担当：地域)

(担当：誘致)

- インバウンド対策強化のため、株式会社エイチ・アイ・エス(H. I. S)から職員の出向を受け、海外誘致営業課長に配属(H30. 5. 7～)
- 世界温泉地サミットとの連携
 - ・物産展(ビーコンプラザ)へのブース出展(5月26日・27日)
- 食育推進全国大会との連携
 - ・大分駅構内への観光ブース出展(6月23日・24日)
- (一財)大分県東部勤労者福祉サービスセンター(ピアワーク)と連携した旅行商品販売(特別御朱印めぐりツアー…会員の福利厚生として、ツアー費用の助成により購入を促進)
- 「国東半島宇佐地域世界農業遺産フォトコンテスト2018」開催
開催期間:2018.8.3～2019.1.15 認定5周年記念として実施
※推進協議会より委託
- 物品販売における販路拡大
 - ・代理販売店の拡充等